

鬼女 音戦

まんが



2話
音戦

SHIKO
ワオワールド

ひと しんにゆう
人の侵入を
こは
拒むような

きゆうこうはい
急勾配な
いわ さかのほ
岩の坂を登り

やま たくわ
山が蓄えた
そら だいち しずく
空と大地の雫を
ほうしゅつ つつ
放出し続ける

いわ とと
岩の飛び出た
かわ わた
川を渡り

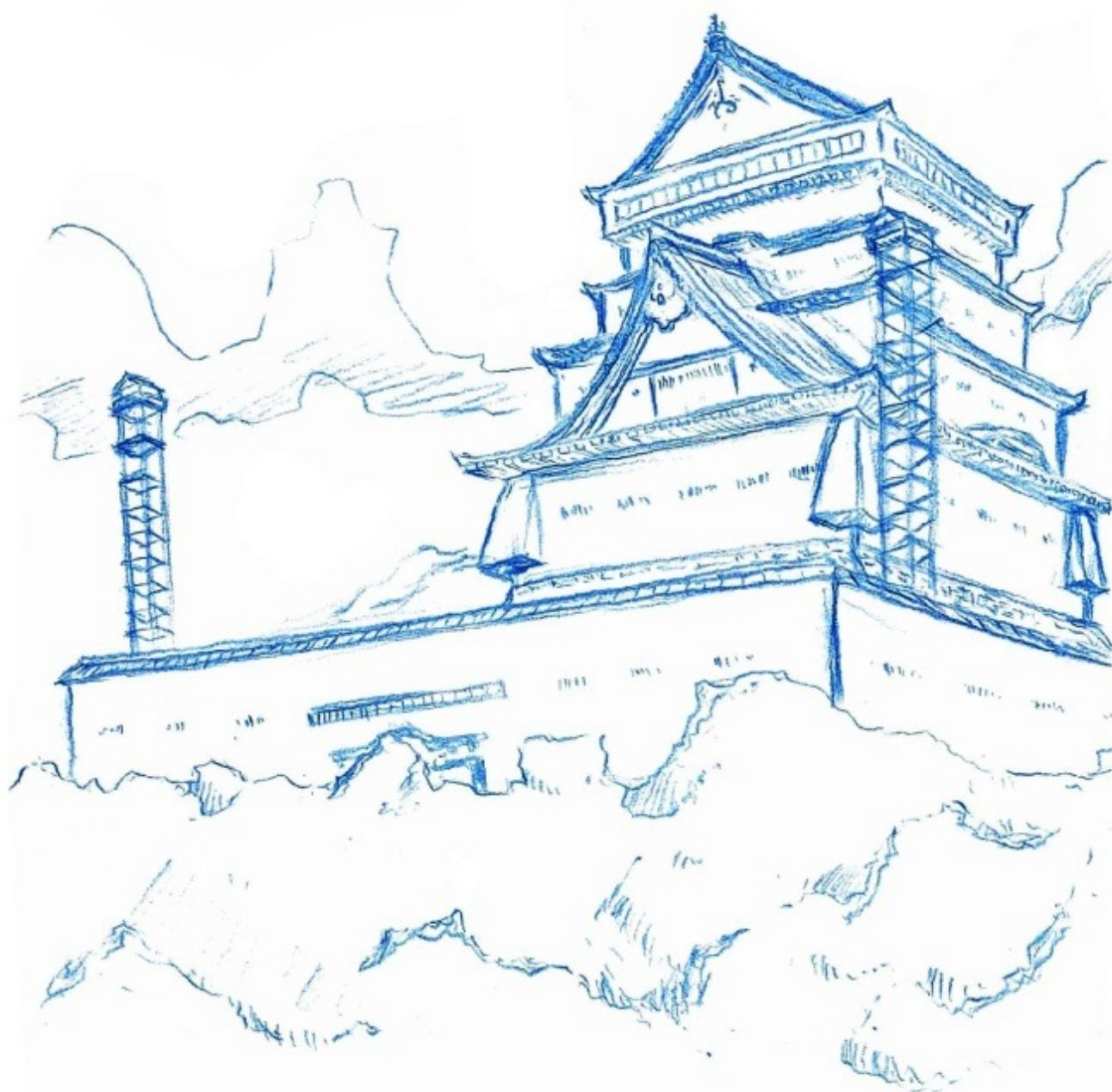
まさり
更なる木々の海を
うみ
抜けた先

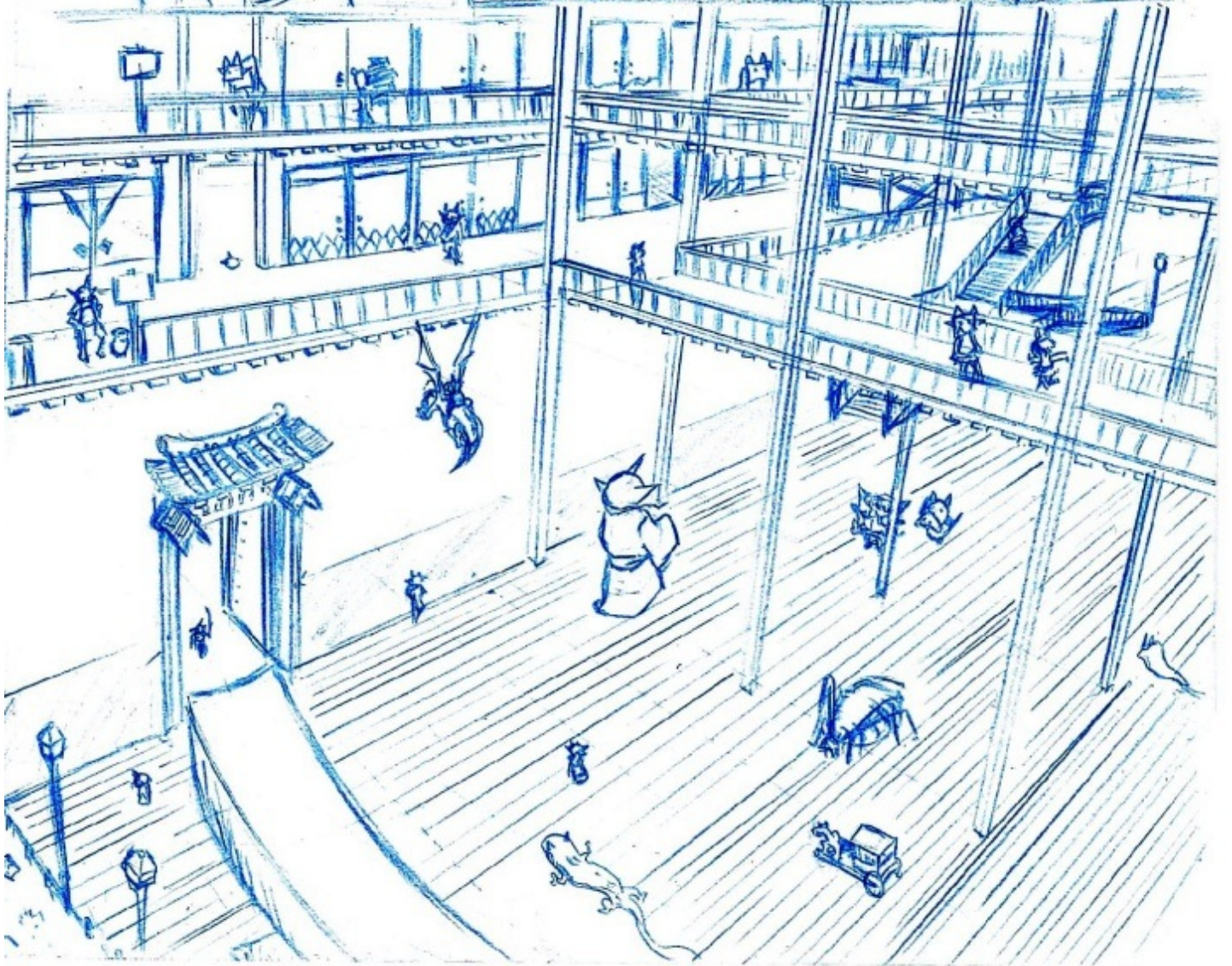
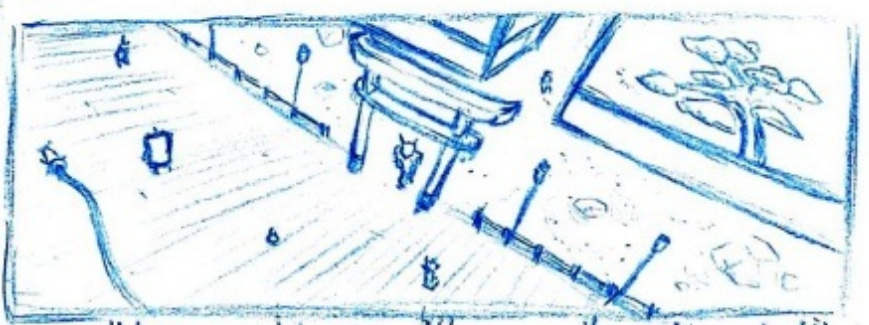
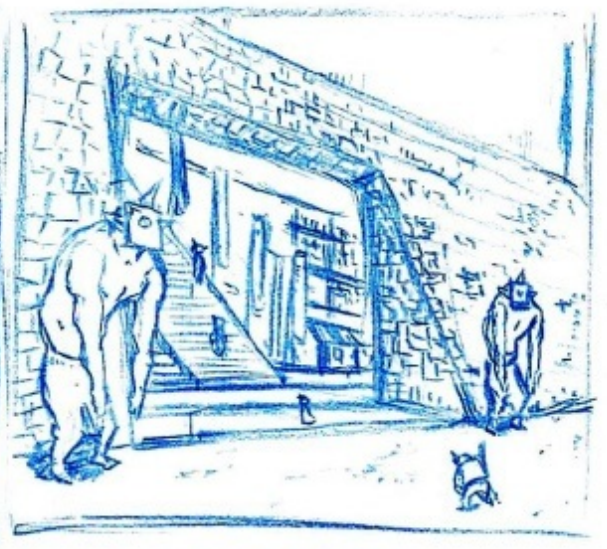
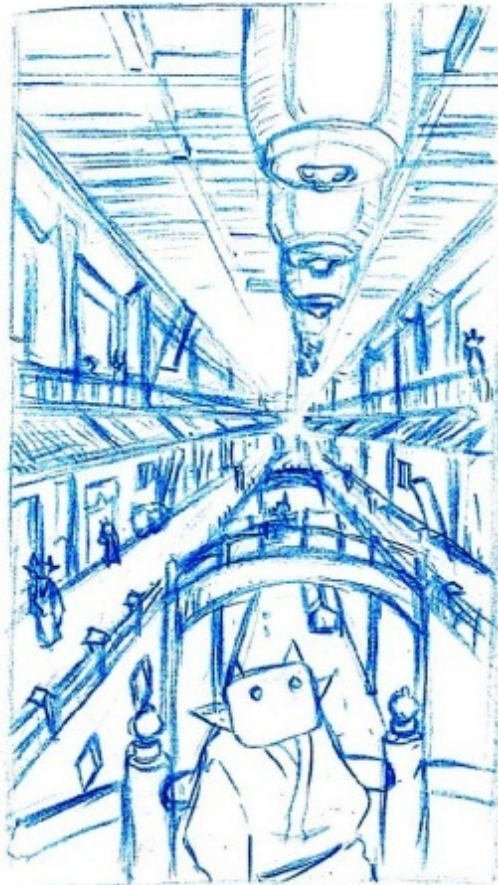
み
見えてくる
きょだい
巨大な門

やま いただき そら
山の頂に空を
いあつ
威圧するように佇む

そうごん
荘厳な建築物
けんちくぶつ

鬼おにの城しろである







こつちに
めしたの
飯頼む

酒の追加
も持ってきてくれ

箸がねえぞ

は、はいで
しるる

うわっ
皿ひっくり返しちまった!!

い
いま片付けます

おい!
飯はまだか!!

す
すぐ持ってきます

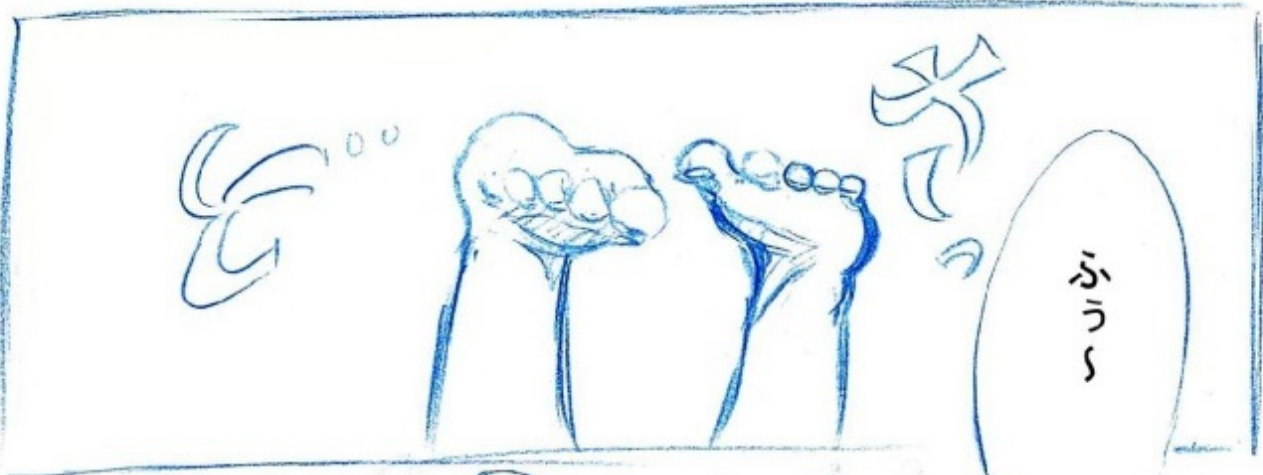
かきゅうおに
下級鬼!
いつまで待たせるんだよ!!

は、はいでしるる

はい
ただいま

は
はしい





ふう



ほ、ほんとに

まったく
人使いの荒い
やつらだ



つぎ ふろあら
次は風呂洗いでござるな

マツカ、ブルツタ
行くでござる

ちよつと
待てよミドリ
少しぐらい
休もうぜ

そ、そうだよ
きゆうけいきゆうけい
休憩休憩



ぶえゝ

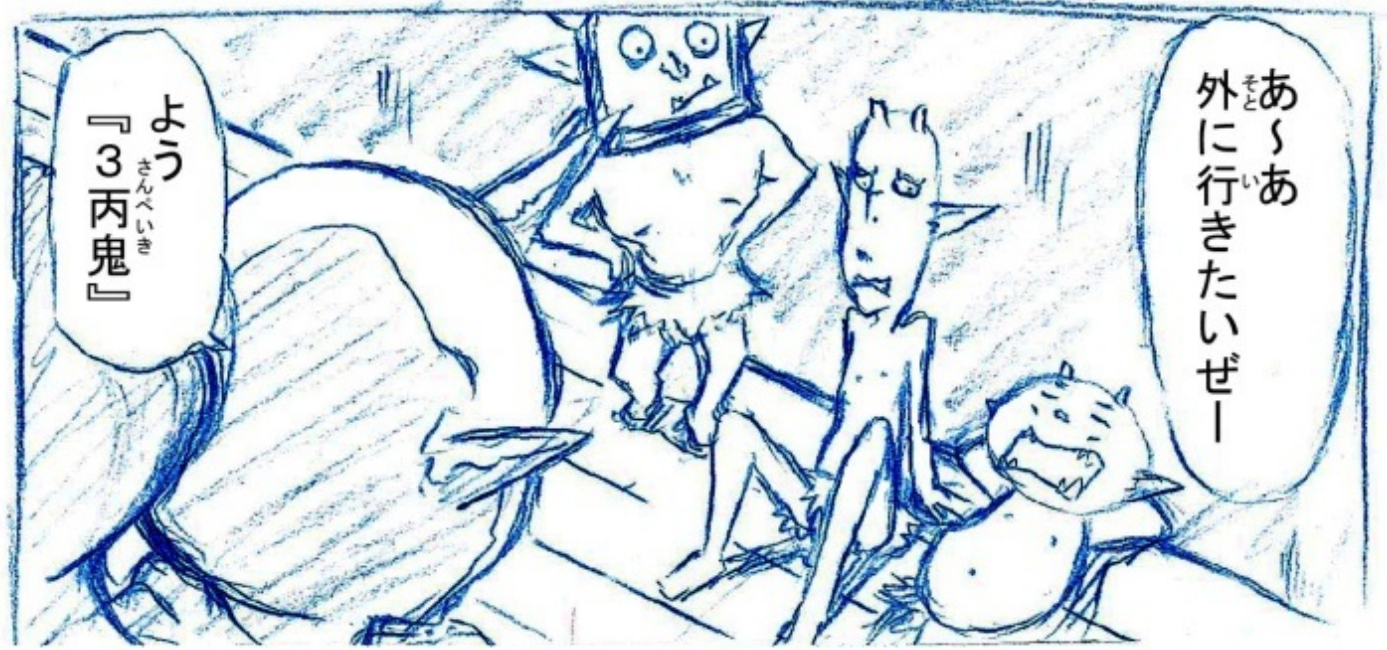
ズルッ

そんなの
お終わらないよおゝ



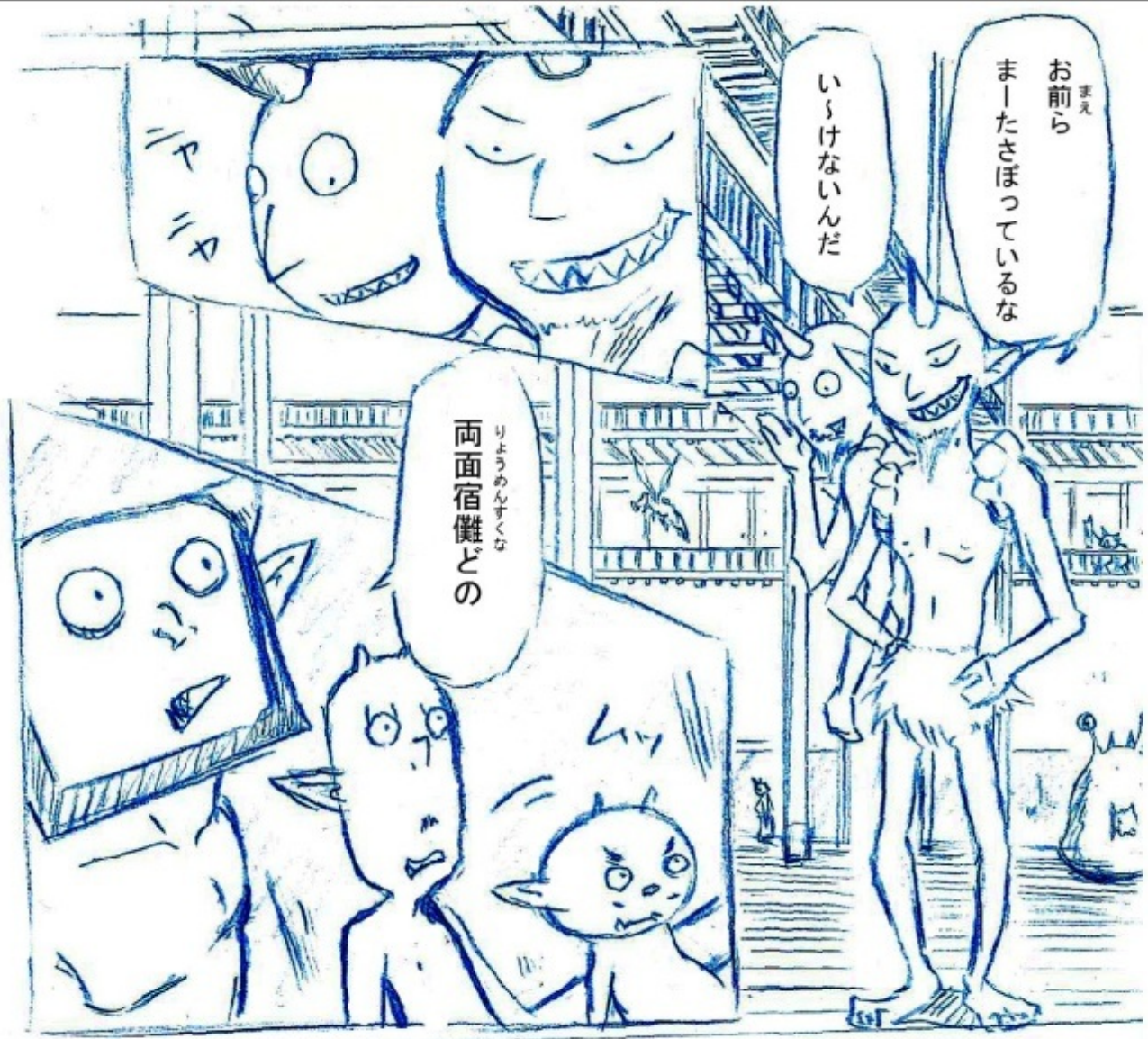
しかし、今日は
ふろあら せんたくもの
風呂洗いに洗濯物

ゆかみが
床磨きに、豚の餌やりが
残っているでござるよ



あゝあ
外に行きたいぜー

よう
『3丙鬼』



お前まえら
まーたさぼっているな

いーけないんだ

りょうめんすくな
両面宿儺どの

ムッ

ちよっと休憩きゅうけいしてた
だけですけど

ななにに
何なか用ようですか

マ、マツカ

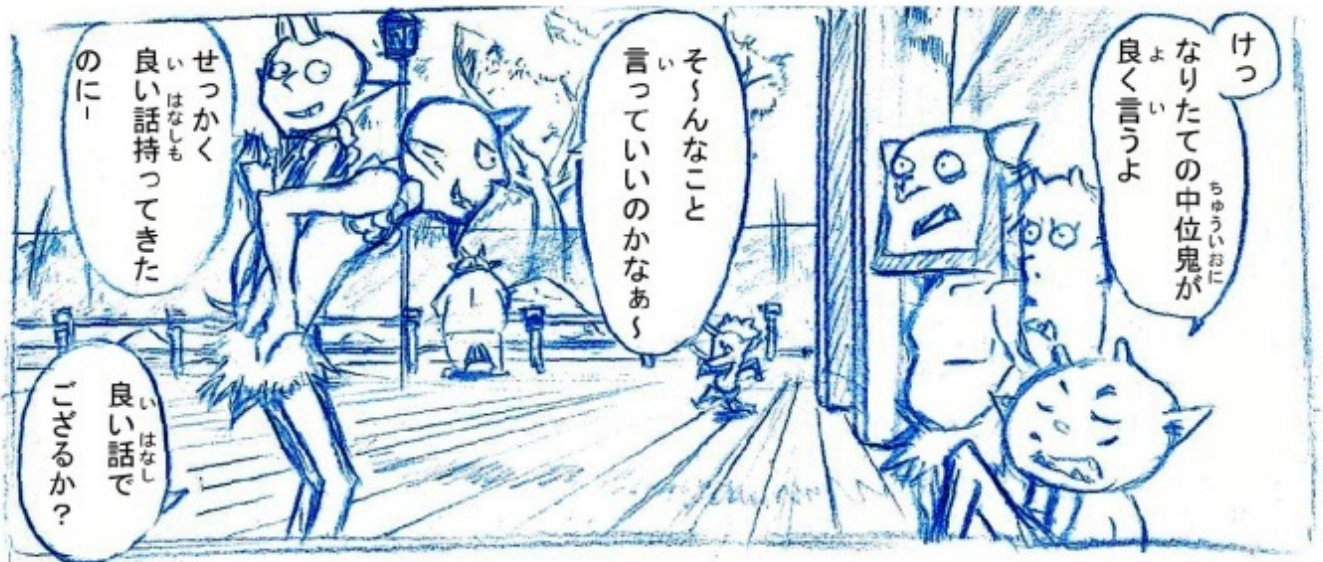
りょうめんすくな
もう両面宿儺は

ちゅういおに
中位鬼なんだから

そうだ

なかさま
ちやんと中様と呼んで
うやま
敬うやまいたまえ







どんな話か
聞き
聞こうか

現金だね
けんきん
キミたち……



待て待て
待て待て
待て待て！

外に行きたく
そと
ないのか！？



ふん



女鬼 谷



鬼 話 兩



とんほみつ
蜻蛉蜜を？

そうだ

この瓶に
詰められるだけ
詰めて来い



とんほみつ
で、でも蜻蛉蜜って
ひとようしよく
人が養殖している
モノ以外には
いまてはい
今では手に入らない
んじゃない？

たし
確か、はるか昔には
ひとやす
人から譲ってもらって
いたらしいでござるが

いま
今では、ほとんど
てはい
手に入らない代物の
はずでござる



それが野生の樹蟻蛉が
生息している場所が

ひとつだけ
あるのさ

ふん

なん
何でそんなこと
知ってるんだ？



そ、それはね...

お、お、

おにほほ
鬼婆からの
指示でな！



なにっか
何に使うんだ？

え、えくと

な、なんでも美容効果が
あるらしんだ

そ、そうそう！

美肌にはその蜜の風呂に
入るのが良いと、鬼婆に
頼まれたのだ！！

ぶえ
鬼婆っていくつ
だと思ってるんだよ

確か、えんま様の次に長命で
先の戦が終わって間もなく
産まれたらしいから...

すでに生きる屍で
いせるな



ほ

そいつは
いいこと
良い事を聞いた

も

紅葉様
もみじさま

オレも是非その蜜に
浸かってみたい

むさ苦しい男共と
同じ湯じゃ、女の武器は
保てないからな

アンタは、そんな武器
使わなくても充分
恐ろしいじゃないか

良かった

鬼婆のことは
怒られなさそうだ



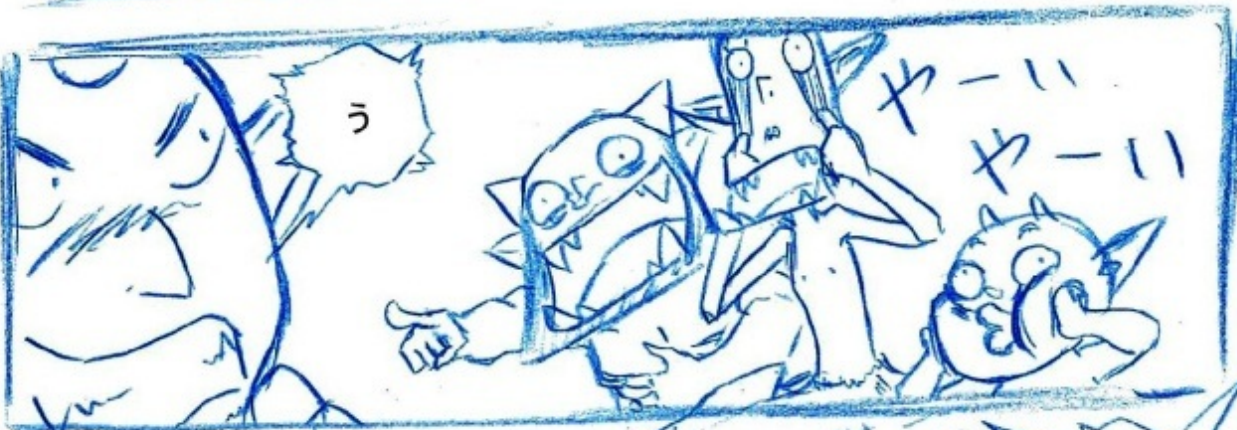


お、お、お任せ下さい
わたくし
私があなた様の為に
かならず
必ずや用意して見せます

何だって？



頼んだよ



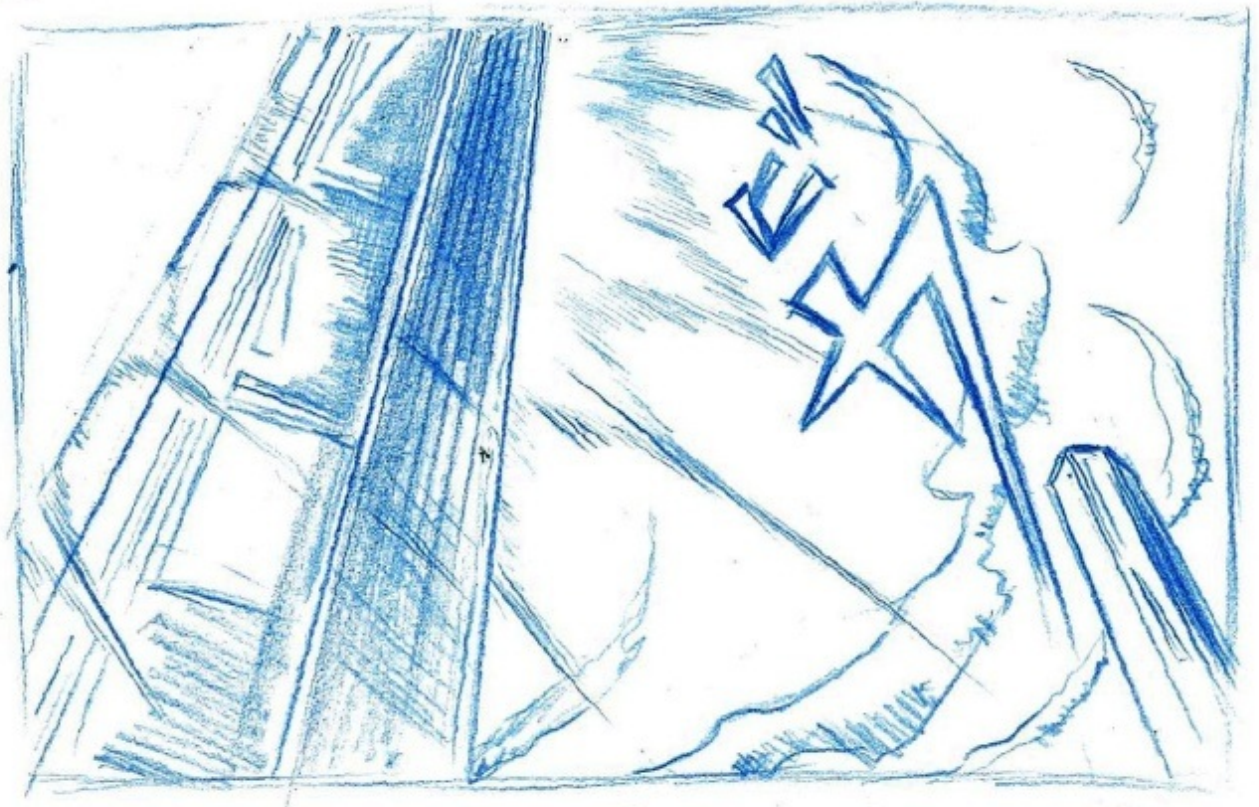
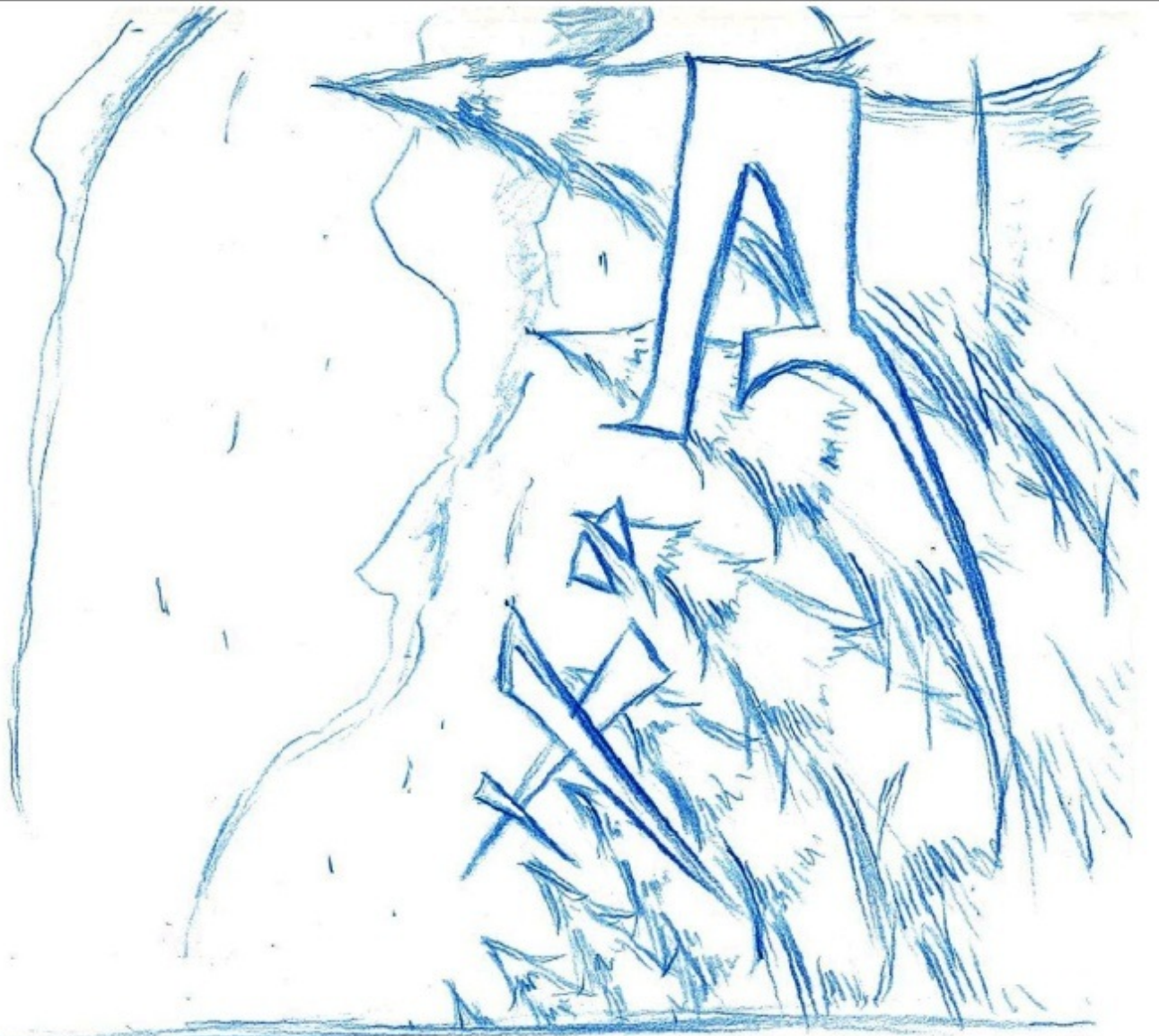
う

やーい
やーい



とにかく
行って来い!!

うるさい!





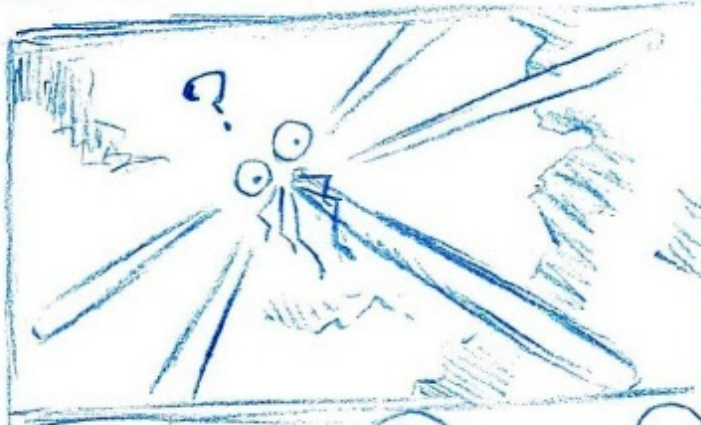


凄いでいけるな

こんなに
じゅんぽ
樹蜻蛉がいるとは・・・



どうかした？



良いよなあ・・・

こいつは自由じゆうで



ふふふ

いつか僕等ぼくらも
しろで
城を出られるかな？

わしの
夢ゆめでしるからな



まゝた始^{はじ}まった

そんなの無理^{むり}だろ

うっ

・・・はあ

フー



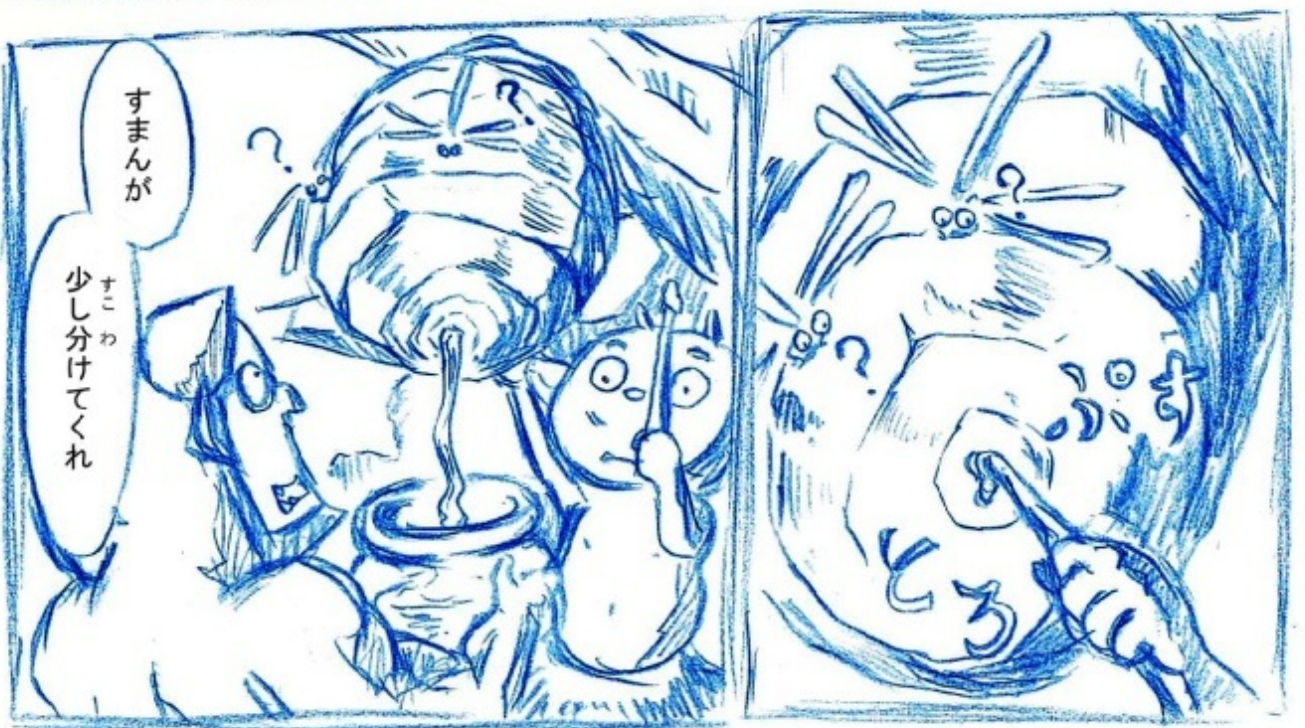
オレ等^らは鬼^{おに}だよ・・・

こゝんな怖い顔^{こわ}で
そとせいかつ
外で生活できる
わけ無いぜ・・・

どこが怖い顔^{こわ}なんだ

むしる愉快^{ゆかい}な顔^{かお}

してるでいやるよ



すまんが

少し^{すこ}分けてくれ

す
ろ



こっちので
さいご
最後かな

もうすっかり
ゆうがた
夕方に・・・

ん？



マ、
マツカ、ミドリ

どーしたでござる？

さほつてないで
てっだ
手伝えよ

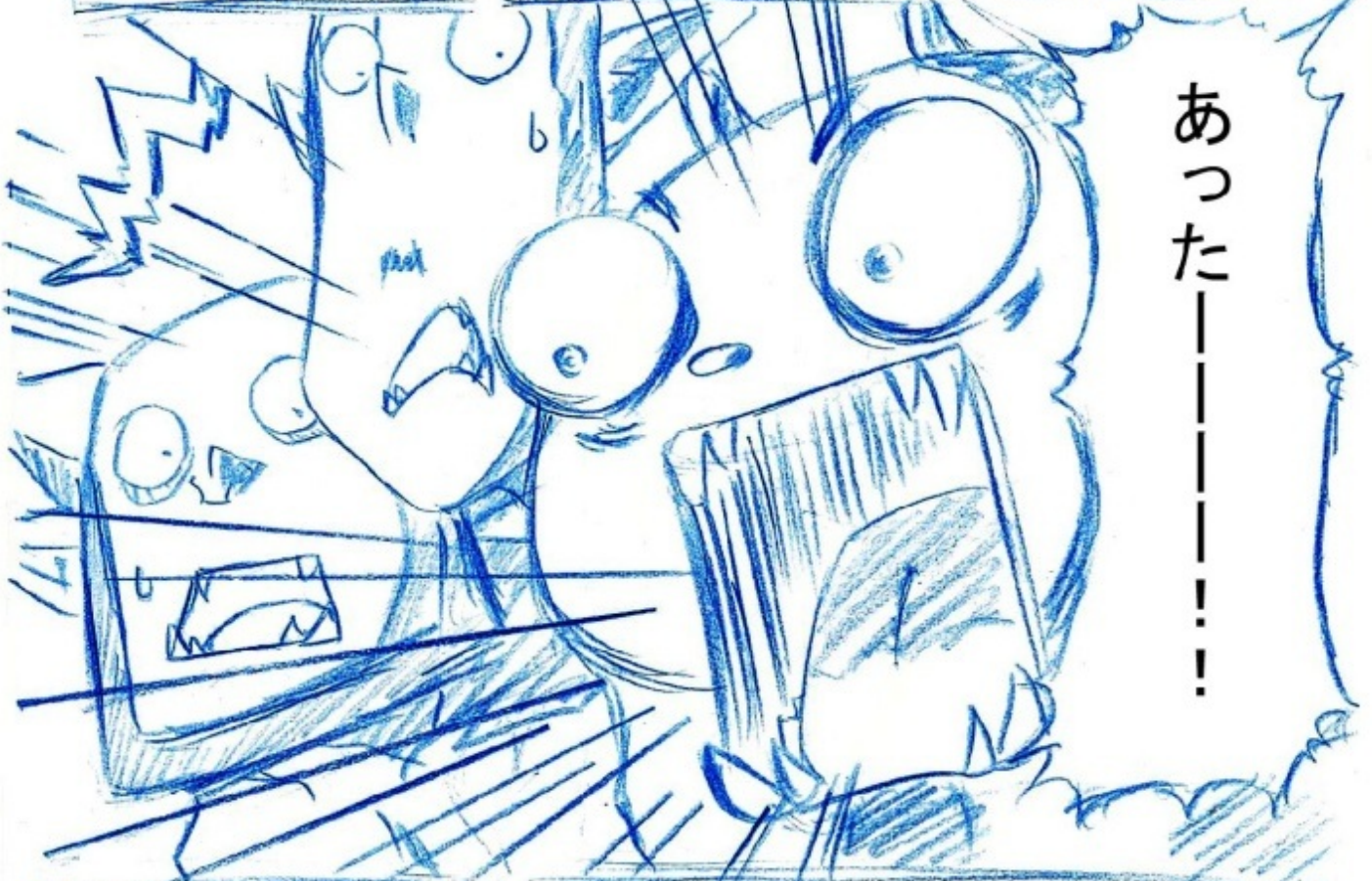
あ、あれ・・・

『人』
ひと
・・・じゃない？

こーんな場所
ほしよ
に
いるわけないだろ

で、でもほら、あれ・・・







これで最後だね

よし!

こんな場所まで
人が来るとはでござるな...



さあ 早く
帰ろう

え!?

なんでだよ!

ちよっとぐらい人に
近づいてみようぜ!!



ダメでござるよ
人に近づくことは
禁じられているでござる

そうだよ

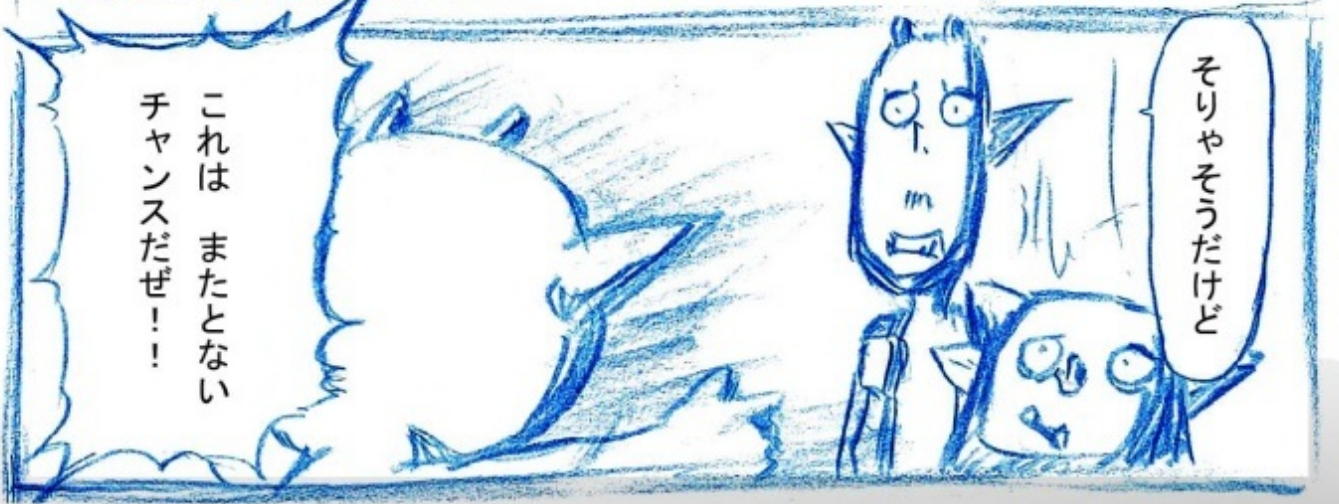
人を怯えさせる
ようなことは
いけないよ



見つからなきゃ
いいんだろ!?

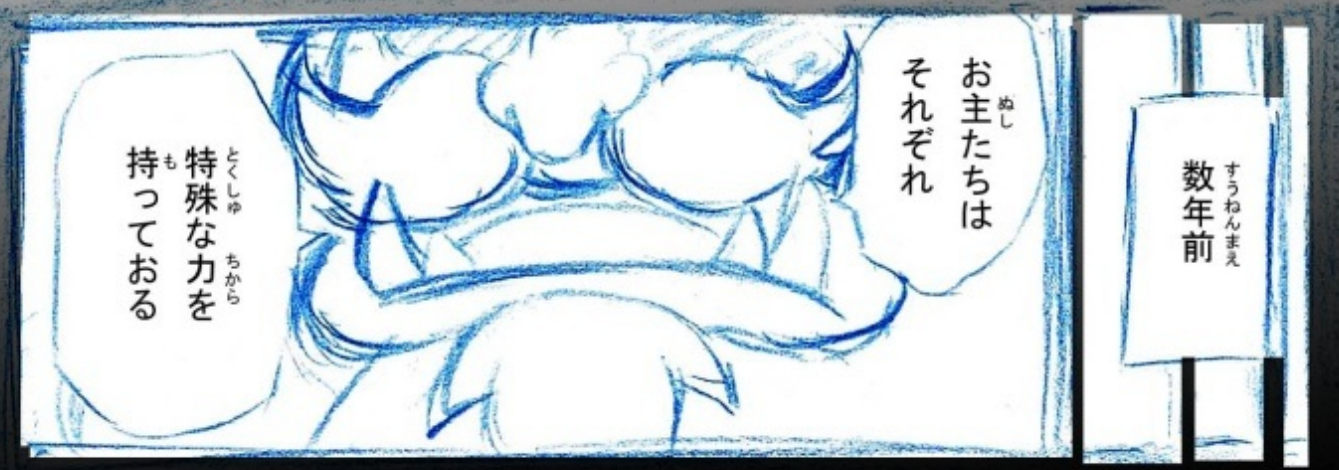
お前まえら!

人ひとなんて滅多めったに
見れるもんじゃないんだぞ!!



そりゃそうだけど

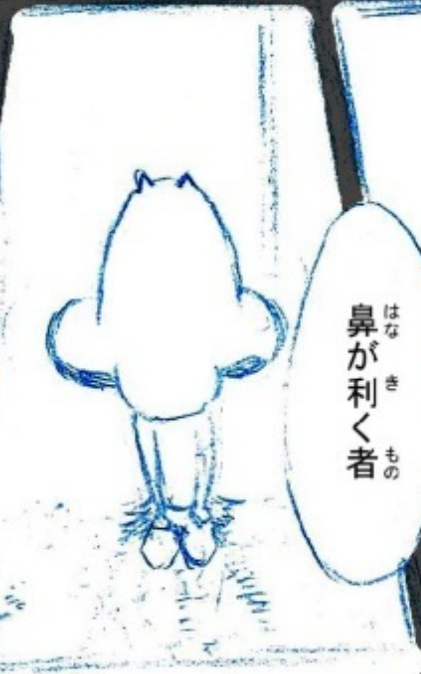
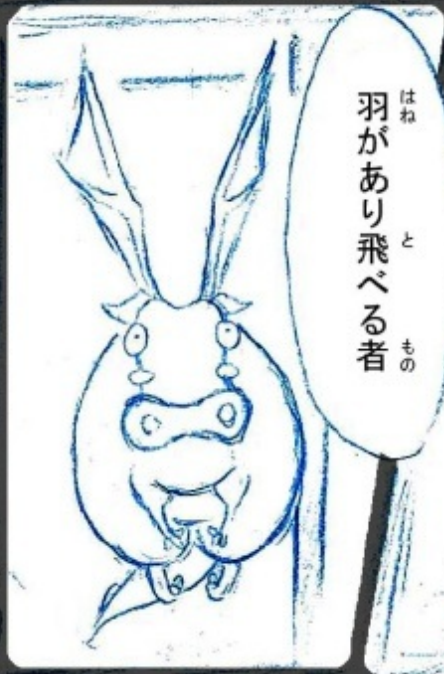
これは またとない
チャンスだぜ!!



お主ぬしたちは
それぞれ

とくしゅ ちから
特殊な力を
も 持っておる

すうねんまえ
数年前



ガハハハ

そんなことは
気にするな

まだ目覚めていない
ものや、己の能力に
気付いていないものも
おるだろうが

他の者たちも
それぞれ何か
しらの能力を
持っておる

それはわしにも
無い立派な力だ

鬼として
誇りを持つが
良い

えんさま様！

人はどんな力を
持っているの？

馬鹿だなお前

人は僕等の様な力は
持っていないんだよ



え

なんでだよ

そ、それは・・・

なんで

なんで——？



そうそう

きつと凄い力を
も
持っているのさ



そうか

そうか

おしら
もう人に興味
あるのか



なかさま
中様たちには
人は敬うべき
存在だつて
おそ
教わつたで
ござるよ

うん

人は上様たちにも
出来ない事
ができるつて



だから人は鬼じゃ
ないからそんな力
無いんだつて

うそだ！

じゃあなんで
敬うんだよ！！

そーいうもんだからだ！

ぎゃあ

ぎゃあ

GM

ガハハハハ

いや

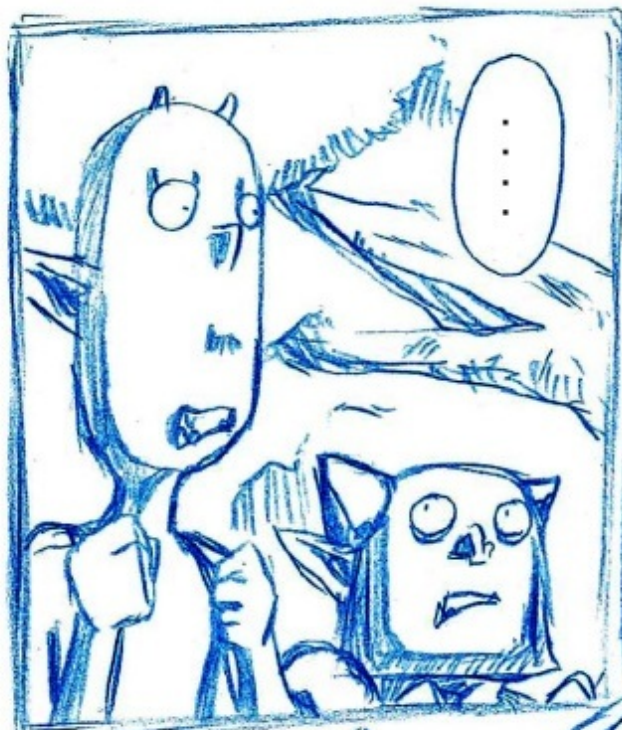
人は凄^{すご}い力^{ちから}を
持^もってるよ

えくなになに？

お主^{ぬし}たちにも

いつか手^てに入れて
欲しい力^{ちから}じゃ





...

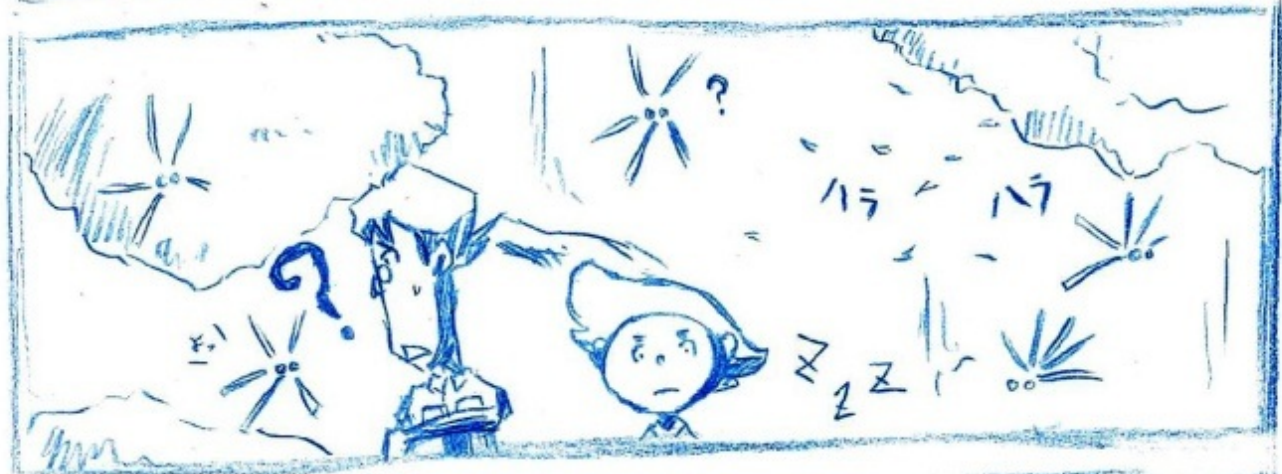
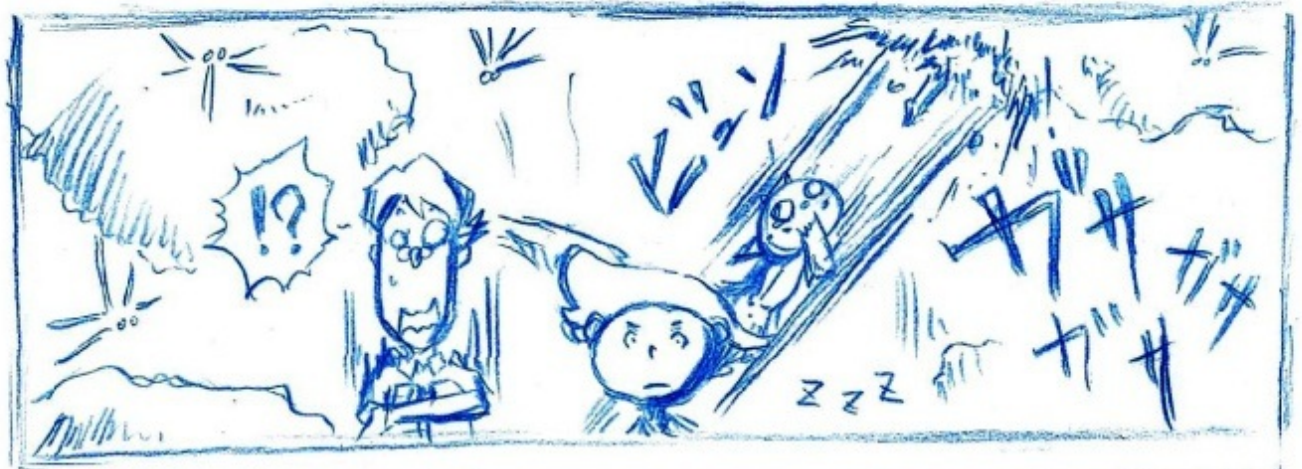


あの時の
えんま様の言葉

確かめてみた
ないか？







おまえなあゝ

いやいや
わ悪かったでござる



まったく、せつかくの
チャンスだったのに・・・
しょうがないよ
日も暮れてきたから
早く帰るでござるよ



うん
あ
あ
あ

い、いまこえ
今の声って

さっきの・・・

なに
何かあったで
ござるか？

行ってみよう！

ダッ





◆まんが◆

YOSHIKO

◆サイトURL◆

(<http://www.waoworld.com/onimajo/>)

株式会社 ワオ・コーポレーション
エンターテインメント事業部 ワオワールド

2011. 08. 05

本書の一部または全部を無断で複写、複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。また、業者など、読者本人以外による本書のデジタル化は、いかなる場合でも一切認められませんのでご注意下さい。

話
鬼